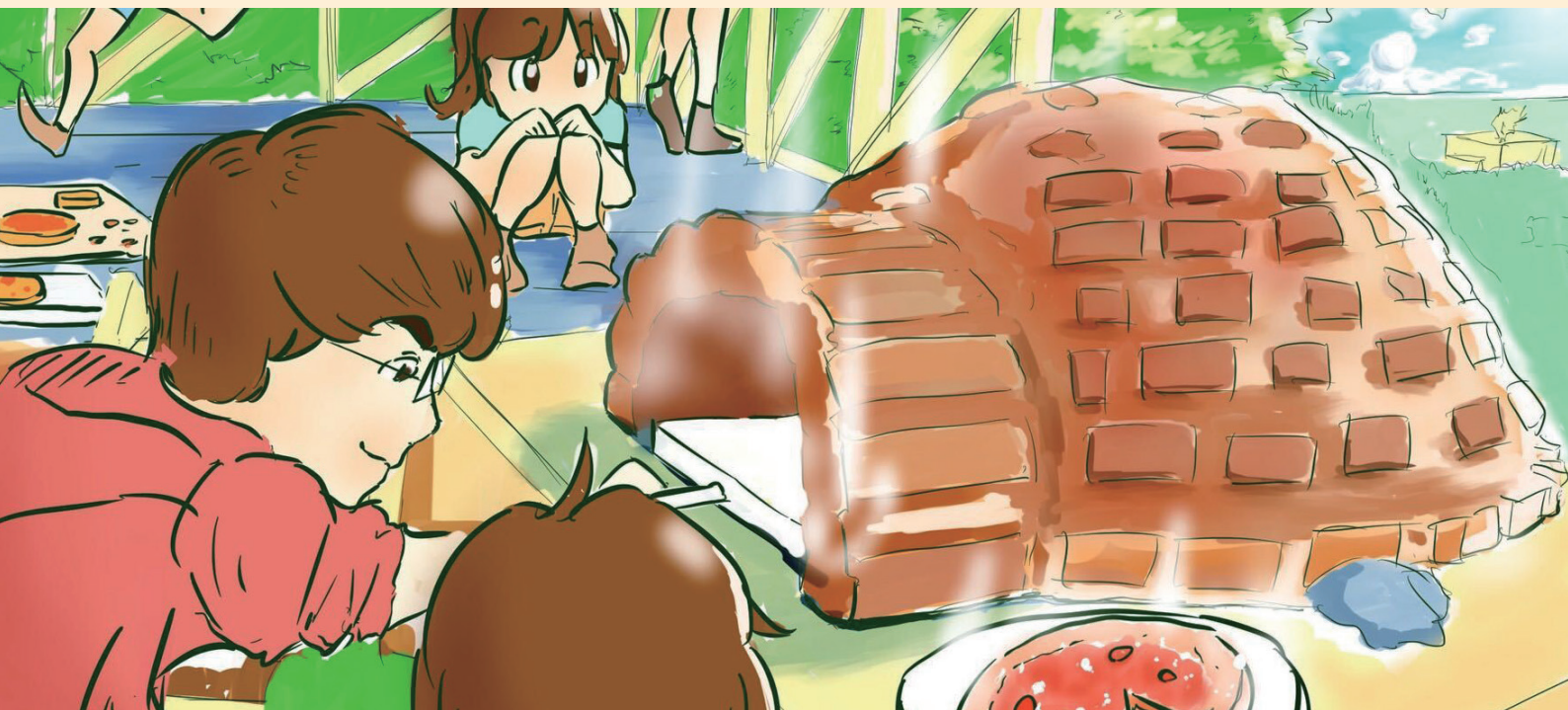




# 活動報告書 2019

一般社団法人はらいふ

人のつながりの中で、  
誰もが自分を生きられる社会を目指して





## こどもの〈今〉に寄り添い 日常を積み重ねる

2018年6月に娘が生まれて、ほぼ同時期にオープンしたフリースクールはらいふ。フリースクールとしては2年目の報告書ができました。

毎日、こどもたちを迎えに行き、ご飯をつくり、一緒に遊ぶ。それだけといえば、それだけなのかもしれません。

でも毎日同じ日はやっぱりなくて、どこからか遊びがはじまって、何かうねりのように動く時もあれば、まったくお茶飲んでゆっくりしている日もあります。そして、こどもたちの変化・それぞれの成長を、たまに…でも確実に感じることができる。そんな日々を過ごしています。

2019年も本当にいろんなことをしました。こどもたちから出てくるアイデアから、たくさんの企画もさせていただきました。利用する人数も増え、ケンカやトラブルをどう学びにしていけるか、試行錯誤することもあります。

学校の先生をはじめ、関係機関との関わりも増えました。娘もあつというまに歩き出し、おしゃべりになりました。

「はらいふがなかったらもうダメだったかも…」と伝えてくれた保護者の方がいました。

「はらいふがあったおかげで自分の人生が変わったと思ってる」そんな風に言ってくれる子もいました。

もちろん全てに答えられているわけではありません。受け止めきれなかった子もいます。

すでにはらいふを卒業し、新たな場所でごんばっている人もいます。

そうした子たちもずっと応援し続けたい、困ったことがあればいつでも連絡してほしいと思っています。

はらいふは、こどもや保護者の〈今〉によりそい、幸せなこども時代をつくる実践を続けていきます。

一般社団法人はらいふ 代表理事 木脇嶺



## フリースクールはらいふは こんな場所

自分たちが主役となって自由な時間を楽しめる場、あるいは、寄り添い、サポートされることで一人ひとりに合った学びの場を得られることを目指して活動しています。

多様な体験学習  
の他、本人の望むペース・内容での教科学習もサポートします。

「しなくてはいけないこと」はなにもありません。本人の意思を尊重した過ごし方を大切にしています。

なによりも、楽しく幸せな毎日をご過ごすことを大切にしている場所です。

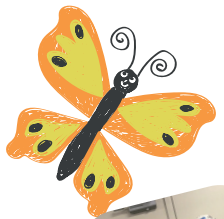
主として不登校の10代の子どたちが安心して自由に学び・過ごすことのできる場所として、2018年6月に高槻市原にオープンしました。

活動時間は月・火・木・金の10:00～17:00。  
いつ来ても、いつ帰ってもOKです。また、自力での通学が難しい方には車での送迎を行っています。



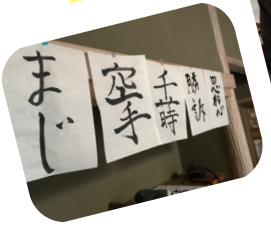


# 2019年 はらいふのハイライト



1月

書き初め



あなほり



4月

明治工場見学



5月

高槻ジャズストリート



～はらいふバンドで演奏～



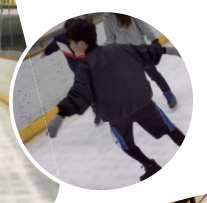
2月

節分



京都アクアリーナ

スケートリンクへ!



ティラミスづくり



染め



6月

ちまたん1歳の誕生日



京都市動物園



7月

淡路島の海



川遊び



カート



ハロウィン



8月

夏合宿



9月

ひらかたパーク



11月

京都・嵐山



12月

焚き火



もちつき





フリースクールはらいふは、必ずしも学校復帰を促すための場所ではありません。ただ、こどもたちが行きたいと思った時には、学校へ行くことも選択肢になればと思っています。

出席認定については、高槻市でも認定の制度が作られるよう、オープン以来積極的に学校や行政と連携実績を重ねてきました。今年度から、高槻市内の公立小中学校において、はらいふに来ることが出席扱いとなったことにより、学校との連携はさらに密に実施することができ、学校の先生方と一緒にこどもたちをサポートしていく取り組みもたくさんありました。

### 教員の方の声



私のクラスのAは、2年生の途中で転校してきました。転校する前からはらいふに通っており、Aの状況を知ることと、先の見通しを持って支援するためにもはらいふとの連携は欠かせませんでした。その後も家庭環境を含めてさまざまな課題がありましたが、常にはらいふと情報を共有し、共にAを支えていくことができました。Aにとって居場所であるはらいふと相互に情報共有し、共に支援していくことが、Aの成長に大きなプラスになったと考えています。

他にも、学習状況の共有や、学校行事等へのバックアップなどもすることができました。そのことで、Aはポイントになる学校行事には全て参加し、はらいふに通いながら学校での居場所もしっかりある状況をつくることができました。Aはさまざまな揺れを経験しながらも、高校への進学を果たすことができました。それは、学校とはらいふが同じベクトルを向いて協力できた成果だと感じています。この先もAが周りのサポートを受けながら生き抜いていくことを心から願っています。

(高槻市立中学校 教員)

なかなか登校することが難しい児童に対して、適切な支援を行うことができたと考えています。具体的には、授業時間内に学校に登校することが難しいだけでなく、放課後登校をすることも難しい児童の様子を、メールや電話でフリースクールの担当の方と連携することができました。そのことで、児童の安全確認ができるだけでなく、児童が学校ではなかなか本音を話すことが難しい事柄に関しても、フリースクールの担当の方を通じて把握することができるので、児童と話をする際にそのあたりを踏まえて話をすることができました。また、フリースクールの行事に参加させていただく機会を設けていただくことで、児童との人間関係を再構築することができたと考えています。

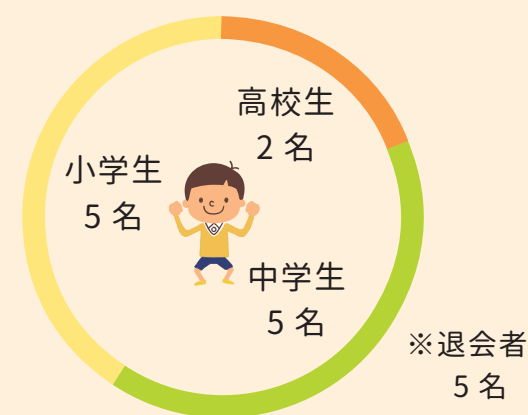
(高槻市立小学校 教員)

## 2019年度相談件数

	2018年度	2019年度
新規相談件数	35件	42件
うち入会者数	11名	8名

## 生徒内訳

登録者数：12名（うち高槻市内生11名／市外生1名）



## 減免実績

2019年度寄付総額 814,000円

2019年度減免総額 1,260,000円  
(減額：3名／免除2名)

### ウソをついてしまって、ごめんなさい。

これまで「寄付をいただいた額だけ、利用料の支払いが難しいご家庭の減額をします」と言っていましたが、2019年度は寄付額を上回る月謝の減額・免除してしまいました。困っている子どもやご家庭を目の前にしてしまうとついつい…自分たちのことを顧みずに活動してしまいます。

より多くの方々にサポーターになっていただくべく頑張っていこうと思いますので、ご協力お願いいたします。



## フリースクールがもっと必要だ！

2018年6月からスタートしたフリースクールですが、毎月とぎれることなくご相談やお問い合わせをいただいています。その多くが「学校へ行かなくなって、行く場所がない。元気がなくなっている。」という切実な内容です。はらいふでは2019年度の途中からキャンセル待ちをお願いし、ご連絡いただいたのにお待たせしてしまっているという心苦しい状況があります。

受け入れられる人数を増やしたいし、学校へ行かなくても子どもたちが自由で幸せに学び過ごせる場を、少しでも多くつくりたいと思っています。

ニーズがあるから、と事業の拡大ができれば良いのですが、現在の運営でさえ、利用してくださっている各ご家庭からの月謝だけでなく、物件の提供や寄付・ボランティアの方など、本当に多くの応援をようやく受けて成り立っているのが現状です。

すぐには難しいとは思いますが、今後必要とする子どもたちを受け入れられる場を増やしていきたいと思っています。もしフリースクールのスタッフを本気でやりたいという人や、高槻市内で活用できそうな場所や空き家等の情報があれば、ぜひ教えてください。

また、今年度から教育委員会よりフリースクールの出席を公立学校の登校と同じく扱うことを認められ、公・民ともに子どもを支えるという姿勢を確認できたことはとても喜ばしく感じます。しかし、実質的には助成金などはなく、民間として求められることと、できることのギャップを感じることもあります。子どもたちが自分らしく居られる場所に保護者が安心して送り出せるよう、今後制度化が進むことを願っています。



## 福祉的なニーズに答えていくために

はらいふは一般的な学校よりも子どもの日常生活に近い環境にあり、その分それぞれの家庭の様子が見え、フリースクール以外のサポートや福祉サービスの必要性が見えてくる場合もあります。そのようなケースでこそ、公の機関である学校や行政と連携し、子どもたちを取り巻く課題の解決へ取り組むことが必須であり、またその効果が非常に高いことも実感しています。

新規でご相談を受ける際には、単にはらいふの利用を検討するだけでなく、こどもや保護者の方の想いや背景を伺い、その時点でのその子にとっての最適解を一緒に考える場としています。キャンセル待ちとなった場合でも、必要に応じて継続的な相談支援を実施したいと考えています。そうしたことから、ソーシャルワークや心理・発達の専門性のあるスタッフも2019年11月よりはらいふに加わり、非常勤スタッフとして活動しています。

今後もこうした動きは日々必要になるでしょうし、重要であると考えています。民間のフリースクールという立場だからこそできる柔軟な支援をしていければと思います。

### ● 関係機関先一覧 ●

高槻市教育委員会 / 高槻市生活福祉支援課 / 高槻市立子育て総合支援センター「カンガルーの森」  
社会福祉法人高槻市社会福祉協議会 / 社会福祉法人花の会 相談支援センター スキップ / NPO 法人ここ  
社会福祉法人北摂杉の子会 こども相談支援センター wish / NPO 法人おてらおやつクラブ  
社会福祉法人北摂杉の子会 すぎのこ訪問看護ステーション / 認定 NPO 法人ふーどぼんく OSAKA  
一般社団法人根っこわーくす / NPO 法人暮らしづくりネットワーク / NPO 法人ネットワーク医療と人権





# 2019 はらいふすごろく

はらいふに来ているこどもたちとの日常をすごろくにしてみました。  
ゆっくりコマを進める子、とびとびに参加する子もいます。  
こどもたちに必要なことを一緒に考え、一緒に動き、一緒に進めています。

## ちょっと外へ

たまにはらいふに来る  
魚釣りおじさんに頼んで  
休みの日に魚つりを教えてもらう

LINE

電話

いろいろな  
相談をしたよ

家族

本人

学校

ソーシャル  
ワーカー

## 学校行事と リンク



学校の定期テストを  
はらいふで実施

学校での卒業式に、  
はらいふのみんなで参加

保護者の方が運営するカフェで  
パーティー！  
マジックショーもあったよ

自分たちで計画して、  
修学旅行へ！

## 高校見学

## 放課後 デイサービスも 併用



「はらいふが休みの水曜日が  
ヒマ！」と叫んだら、体を  
動かせる場所を調べてくれた  
一緒に見学にも行って、  
利用開始！

学校の先生とはらいふのスタッフ  
と一緒に、高校見学  
なんとなく、高校のイメージが  
つかめる

## まだまだ つづく

2020年度も  
はらいふ！

弟や妹が  
はらいふに入学

退会

卒業・進学

卒業・就職

からの復活？

## 翌朝みんなには なんとかごまかす

## 家に帰りたくなくて はらいふに泊

拒食症で入院  
退院後 CSW さんが  
地域の繋がりを探して  
はらいふに TEL

知り合いの人からフリースクール  
を教えてもらったので自分で電話  
をかけてみる

## はらいふと 出会う



## 毎朝起こす

朝起きれなくて、  
家に起こしに  
来てもらう

薬も飲んでいるかな？

## みんなで ミーティング



プロジェクターで  
ゲームをする時間を  
決める

お出かけの  
計画を立てる

静かに過ごしたい人  
の声を拾って部屋の  
使い方を話し合う

## 送迎

はらいふ帰り、  
体操服に着替えて学校へ

車の中の会話  
学校あるあるトーク  
今日のボランティアは  
だれー？

クリスマスはサンタが  
迎えに来る！

ハロウィンはゾウが  
迎えに来たよ



## 情報発信しています

### フリースクール WEB

<https://www.halife.me>

### コミュニティハウス WEB

<https://ha-life.jimdo.com/>

### ブログ「はらいふにつき」

<https://blog.halife.me/>

Facebook ・ Instagram ・ twitter

不定期更新しています。

## はらいふのマンスリーサポーターのお願い

はらいふへの寄付は”すべて”、経済的理由でフリースクールに通うことを諦めてしまう10代のために使われます。

<https://www.halife.me/donation>



コミュニティハウス  
はらいふ

## 一般社団法人はらいふ

address 〒 569-1051 大阪府高槻市原 91-13

TEL 072-668-6440

Mail [info@halife.me](mailto:info@halife.me)

LINE [@halife](#)